

事業提案

事業者：ヤマエ販売株式会社（都城市）

資本金：1,000万円 業種：食品販売卸売業

従業員数：57名

事業名：ハンディーターミナルデータ収集サーバーのクラウド化

クラウド

POINT! クラウド化による運用コストからの解放とセキュリティ確保

【概要】

ハンディーターミナル（HT）の更新とサーバーのクラウド化。

【主な取組】

- ✓ HTのハードウェア更新
- ✓ 新たなデータ収集サーバーをクラウドに構築
- ✓ データ収集機能のプログラム改修

【事業の目標】

（定性目標）

- HTおよびデータ収集機能の可用性向上
- データ収集サーバーの運用コスト削減
- データ収集機能と販売管理システムの連携による出荷管理強化

（定量目標）

- SECURITY ACTION★ 令和 6年 7月宣言予定

（労働生産性）

本件の費用を5年償却で計上をし、収入に関しては年1%程度の売上増を見込。
 確実な営業利益を確保し給与を毎年2%程度の昇給を行う。
 人員に関しては、定年退職者の補充を見送り本件システム導入による販売業務全体の利便性向上を図り労働生産性を上げていく。

【取組を行う背景】

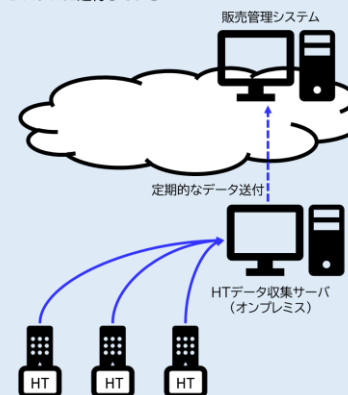
当社では出荷業務においてHTで取得したデータをサーバーで収集して販売管理システムに転送するシステムを利用しているが、機器類の老朽化により故障時の修理・交換が出来ないなど利用継続が困難な状況に陥っている。
 さらに、サーバーはオンプレミスで構築されているがOSが古く、修正プログラムが適用されないことから情報セキュリティ上のリスクにもなっている。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担 等）】

- ・ 出荷のリアルタイム管理により商品在庫をリアルタイムに把握可能になる。
- ・ 商品在庫の管理強化により、発注や製造依頼を計画的かつ効率的に行える。
- ・ 売上や出荷のデータを製造元のヤマエ食品と共有、製造計画や計画的な原材料調達の実現

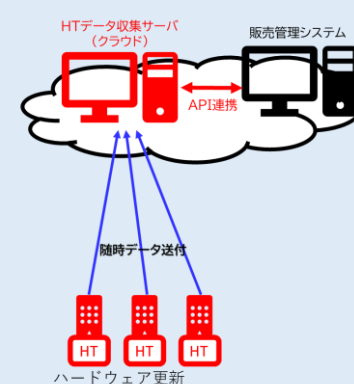
Before

HTで取得したデータをサーバーが収集。
 収集したデータを定期的にクラウドの販売管理システムに送付している



After

HTで取得したデータはクラウド上のサーバに集約。サーバと販売管理システムのAPI連携により、リアルタイムのデータ利用が可能。



【効果（成果）】

- ① コスト改善等
 - ・ HTデータ収集サーバ廃止による保守費・運用費の削減（▲1,200千円）。
 - ・ HT本体・サーバの不具合頻度減少による修理費等のコスト削減。
 - ・ 出荷処理時間 年間147時間削減。
- ② 情報セキュリティ上のリスク軽減
 - ・ HTデータ収集サーバ廃止によりセキュリティパッチ未適用によるリスクが消滅。
 - ・ HT本体更新によって、より高度な認証の無線LANへの接続が可能となった

【今後の課題】

- ・ リアルタイムでの商品在庫把握
 出荷データを在庫データに連携させ、リアルタイムでの在庫管理実現を目指す
- ・ 出荷データの利活用拡大
 生産管理システムとの連携、販売計画策定のための資料として活用 など